

永遠の愛を誓い合うならこの場所で—特定非営利活動法人（NPO法人）「地域活性化支援センター」（静岡市）が出会いと結婚の象徴的な観光地を認定する「恋人の聖地プロジェクト」でこのほど、ふたみシーサイド公園（伊予市双海町高岸）と、松山自動車道伊予灘サービスエリア（SA、同市宮下）の2カ所が「聖地」に選ばれた。県内では初認定。

永遠の愛誓う「聖地」に



恋人の聖地に選ばれたふたみシーサイド公園—伊予市双海町高岸

ふたみシーサイド公園と伊予灘SAを認定

カップルが愛を誓い、南京錠をかける伊予灘サービスエリアのフェンス



プロジェクトは2006年から、少子化対策などに取り組む同センターが実施。デザイナーの桂由美さんや女優の菊川怜さんが委員となり、これまでに全国61カ所を認定した。

シーサイド公園は夕日の景勝地として有名で、伊予灘SAは道後平野を一望できる夜景スポット。ともに多くのカップルに親しまれていることが評価されたという。

同公園を運営するシーサイド

ふたみと同SAを管理する西日本高速道路四国支社はそれぞれ、銘板設置など記念イベントを予定。シーサイドふたみの三井興行社長（55）は「人前式や夕焼けコンサートを企画している。観光客呼び込みの起爆剤にしたい」と意気込んでいる。

「聖地」は同プロジェクトのホームページ（<http://www.seichi.net/gotoseichi/index.asp>）で紹介されている。